

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

3月20日・22日に議案6件、請願1件の審査を行いました。

町田市立さるびあ図書館の存続を求める請願

委員 これから図書館をなくすのではなく、子育てする人たちが行きやすい図書館をもっと充実させていく必要があると思うが。

図書館長

図書館は中央図書館を初め各地域館が連携しながら、地域館については、各地域の実情等をよく研究しながら、サービスを実施しているつもりであります。サービスを今後もできれば続けていきたいと思っておりますけれども、一方で、将来にわたって図書館サービスをきちんと提供していくためには、このタイミングで各図書館の利用状況とか、建物の耐用年数とか、あと圏域の話などもいろいろ考えながら、今検討を続

えいごのまちだ事業 18年度から全小学校で英語の教科化を実施

委員 小学校への導入が、学年になるといことだが、

うに捉え、対応していくのか。
3カ年タイププロモーション担当課長 1月から募集を開始しており、まちだ〇ごと大作戦を盛り上げるためにPR活動は必要と考えています。市でも、「広報まちだ」への掲載、パンフレットの配布、地域への説明会など、展開をしています。また、実行委員会形式で行っていますので、構成団体の皆様方から、さらに周知を図っていくような取り組みをしていきたい。
委員 選ばれたものの内容はどうなるのか。
3カ年タイププロモーション担当課長 相原地域で行われます、あいはら夜祭りというイベントです。このイベントは、地域の方々が地域の経済の活性化、地域の住民の交流を図るために事業を展開す

問題はないのか。
指導室長 A L T (外国語指導助手)を小学校の1年生から段階的に導入していきます。1、2年生は3時間、それから3年生、4年生に24時間、それから5、6年生に50時間という形で学級数に応じて導入していきます。この指導については、平成20年の学習指導要領の改訂から外国語活動が始まっています。その中で、指導してきている教員はふえてきているものの、一方でまだ指導に自信のない教員もいます。そのため資格を持った職員を各学校に派遣して、小学校教員が英語の授業を行っているところを見て、助言をいただいたり、それから、模擬授業をしていただいたり、研修で活用することを考えています。

総務

3月20日に議案8件の審査を行いました。

シティプロモーション推進事業について

委員 まちだ〇ごと大作戦18年度で市制60周年を盛り上げていくために、企画提案を募集していると思うが、現状どれくらいの提案があるのか。
3カ年タイププロモーション担当課長 相談が38件、エントリーシートが23件、合わせて61件の問い合わせがあります。

委員

具体的に進んでいるのは何件ぐらいか。
3カ年タイププロモーション担当課長 1件の提案の実施が決定され、それ以外は、企画段階ということ、いろいろな方とのつながりづくりを進めている状況です。

委員

さらなる盛り上げをしていくため、課題をどのよう

ることで、桜の時期に、夜もいろいろ端を囲んで、地域の未来を語るといふものです。
ふるさと納税の推進について

委員 ふるさと納税額よりも寄附金控除額が拡大していることと、ふるさと納税促進策の実施とのバランスをどう考えるか。
財政課長 5億円ほどの控除が生まれることについては、かなりの事業費に当たるものが流出している現状を重く受けとめています。地域資源の活用という点で、町田市観光コンベンション協会なども協力し、魅力ある商品を出して、市内外に活性化に向けて取り計らい、ふるさと納税については、今後も推進していくと考えています。

建設

3月20日・22日に議案14件、請願2件の審査を行いました。

多摩都市モノレール推進費 町田駅までの延伸実現に向けて

委員 基金の金額の考え方について。
交通事業推進課長 現段階から計画的に財源を確保して、将来の負担額を平準化することを目的とし、6年間で15億円を目標としています。

委員

導入空間の確保について。
交通事業推進課長 導入空間が確保されている区間が約7キロメートル、道路はあるが、幅員の検討を要する区間が約2キロメートルあります。道路計画はあるが、まだ道路整備が未着手の区間は約2キロメートル、道路計画がない区間については約2キロメー

委員

今後1万5000席になっていくためには、Jリーグ開催だけの使用ではやっぱり困るわけで、稼働率を上げるため、今後どういう想定をするか。
文化スポーツ振興部長 南半球で主にやられているスポーツ、ラグビーの試合なども、可能であれば町田市に誘致したいと考えています。

委員

文化スポーツ振興部長 全

健康福祉

3月20日に議案14件の審査を行いました。

予防接種費 小児定期予防接種について南多摩医療圏5市に加入相模原市との相互乗り入れを開始

委員 「相模原市との相互乗り入れを開始します」とあるが、どのように運用するのか。
保健所次長 相模原市と町田市、それぞれの医師会が連携をとり、町田市民であっても相模原市の契約医療機関で何の手続もなく定期予防接種を受けられることができ、また、相模原市民の方も町田市の医療機関で定期接種を受けられることができる体制を整えています。それぞれの医師会から請求のあったものについては、町田市内の医療機関であれば、一旦町田市が委託費用を負担し、相模原市に請求して負担

委員

金という形で歳入するという仕組みになっています。
委員 町田市民の方が相模原市で受ける場合は、相模原市の医療機関に料金を納めて、後から町田市に請求するという運用か。
保健所次長 利用者が一旦医療機関に支払いをして、町田市に請求していましたが、18年度からは、そういう手続なしに、接種を受ける方は医療機関で無料で接種を受けるという形になります。

委員

小児に関しては無料で、高齢者予防接種については、町田市で補助が出ている分を相模原市でも受けられるのではなく、これは相互運用の範囲外ということか。
保健所次長 相互乗り入れという形で実施するのは、子どもの定期接種のみとなって

委員

人数はどれぐらいを想定しているのか。
生活支援課長 高1、高2が35名、高3は20名。大学受験料が20名で予定しています。

委員

興行以外には、市民総ぐるみのお祭り、盆踊りのようなお祭り、花火大会、興行的にできるようなものがあれば、そういうものもあわせて取り込んでいきたいと考えています。
委員 例えば交通の便だったり、課題がそのままになっているのに、多額の予算を投入して工事する必要があるのかなというのは、普通の市民感覚と思うが。
文化スポーツ振興部長 全

委員

国約1500からある自治体の中で、3つのホームタウンチームを有している自治体というのは本当に少ないわけです。これは私たちの1つの財産であると考えて、さまざまに人に出向いていただいて、本当に楽しんでいただけたらいいと思います。

委員

文化スポーツ振興部長 全